



自然を満喫しよう！



バードウォッチング



【説明】

野鳥ハンドブックと双眼鏡を持って、野鳥の姿を見たり鳴き声を聞いたりする活動です。

【ねらい】

自然の中で感覚を研ぎ澄ませ、資料と実物を見比べて鳥を見分けたり、鳴き声を聞き分けたりして自然への関心を高める。



施設内



0.5～1.0時間



定員なし



小学校5年生～



通年



指導なし

貸出できるもの

- ・野鳥ハンドブック（最大30冊）
- ・双眼鏡（最大20台）

団体に準備するもの

- ・メモ帳
- ・筆記用具

センター内でよく見られる野鳥

ホオジロ



ヒヨドリ



シジュウカラ



キジバト



活動上の留意点

鳥を見つけることに夢中になり、車道へ飛び出したり足元への意識が低下したりしないよう、身の回りの安全確保に注意してください。



当施設では、年間合わせて約40種類の野鳥が確認されています。双眼鏡の操作や鳥の識別には少し慣れが必要ですが、ちょっとしたコツを覚えると、当施設のような山中でなくても、私たちの生活圏においても、意外と野鳥がいることに気付くようになります。この活動を通して、かわいい鳥の世界をのぞいてみませんか。

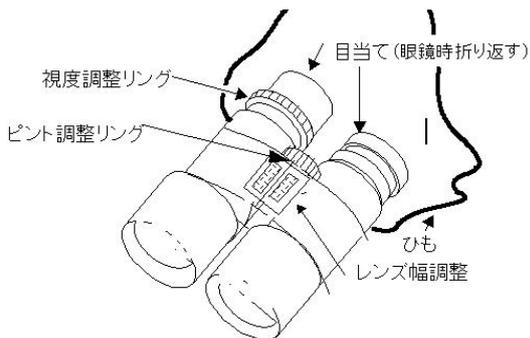
※ 観察に適した時間帯は、「早朝（午前中）」と「夕方」です。

指導の流れ(例)

(1)事前指導	① 双眼鏡の使い方 ② 鳥を見つけるコツ ③ 鳥を見分けるコツ
(2)観 察	・ 見つけた鳥をハンドブックでチェックする。

※ 絶対に、双眼鏡で太陽を見ては、いけません！！

(1) 双眼鏡の使い方



- ① 必ず、ひもを首にかける。
- ② レンズ幅を調整する。
レンズを覗(のぞ)いて、左右の視野が重なって、ひとつの円になるように調整する。
- ③ 視度調整(左右視力の違いを調整)する。
(1) 右目を閉じて、左目だけで覗(のぞ)く。
(2) ピント調整リングを回して、左目だけでピントを合わせる。
(3) 左目を閉じて、右目だけで覗く。
(4) 右の接眼レンズについている調節リングを回して右目のピントを合わせる。
ピントを合わせる時は、同じものを見て合わせる。

(双眼鏡の種類によっては、調整方法等に違いがあります。)

(2) 鳥を見つけるコツ

野鳥はとても敏感です。なるべく足音をたてず、声を出さないように静かに行動します。

そして、1か所に視点を集めずに、全体的に木々を見渡します。木々の不自然な動き等による鳥の気配や鳴き声を手掛かりとして探すこともポイントです。

(3) 鳥を見分けるコツ

鳥の姿を見つけたら、静かにそっと観察します。決して「いた、いた！」と大声を出してはいけません。また、次の点に気を付けます。

- ① 大きさの見当をつける。
例：スズメより大きいのがハトより小さい。
 - ② 全体の色の感じ。目立った色を見つける。
例：全体に黒っぽい。白っぽい。
羽の先が黄色。おなか白。
 - ③ 形の特徴を見つける。
例：しっぽが長い。くちばしが太い。
- 当施設内でよく見られる野鳥
(留鳥)

スズメ、ハシボソガラス、イカル、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、セグロセキレイ、キセキレイ、コゲラ、カケス、ホオジロ、メジロ、ヒヨドリ、ウグイス、キジバト、ホトトギス